

# ABeam Advanced SCM Innovation FTA・EPA活用支援サービス

関税削減効果分析、業務プロセス構築によりFTA・EPAの活用を促進

世界全体ではすでに286件\*のFTA・EPA(自由貿易協定・経済連携協定、以下FTAと記載)が発効済み、いまなお交渉中の協定も多く、貿易自由化の流れは止まることはありません。

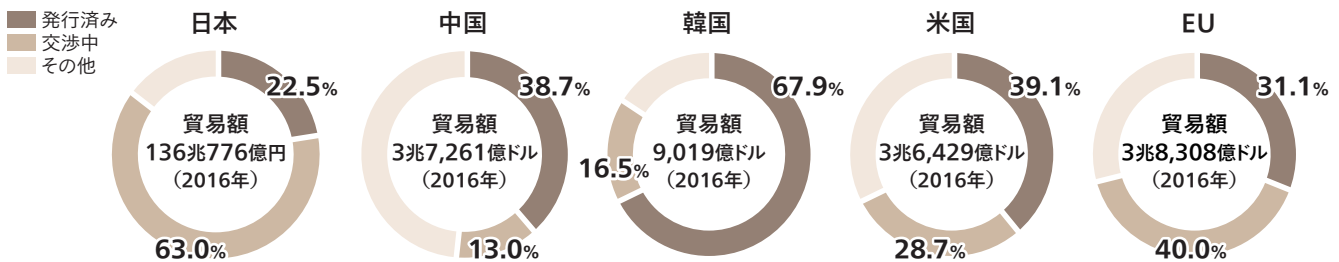
今後のグローバル競争を勝ち抜いていくには、コンプライアンス違反による追徴課税のリスクに備えつつ、これらのFTAをいかに活用し利益を創出するかが重要な検討テーマとなります。

アビームコンサルティングでは、関税削減効果の分析、および業務プロセス改革を行うことで、企業のFTA活用を促進します。

\*JETRO 世界と日本のFTA 一覧(2016年12月発行)より

## 広がるFTAの活用余地

各国の貿易額に占めるFTAのカバー率は年々高まりを見せています。企業においては、発行済みFTAはもとより、今後発行される協定も視野に利用可能範囲の把握、業務プロセス標準化等の準備を進めておくことが重要です。



財務省貿易統計(2016年)、2017年3月末時点の協定発効・交渉状況よりABeam作成

## 活用のポイント

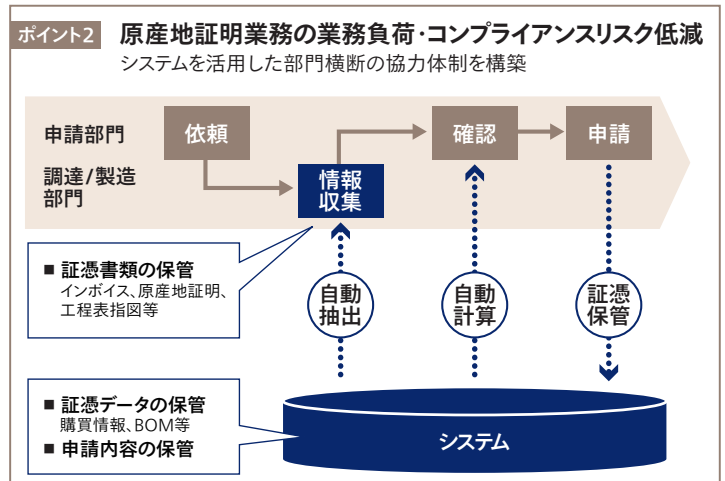
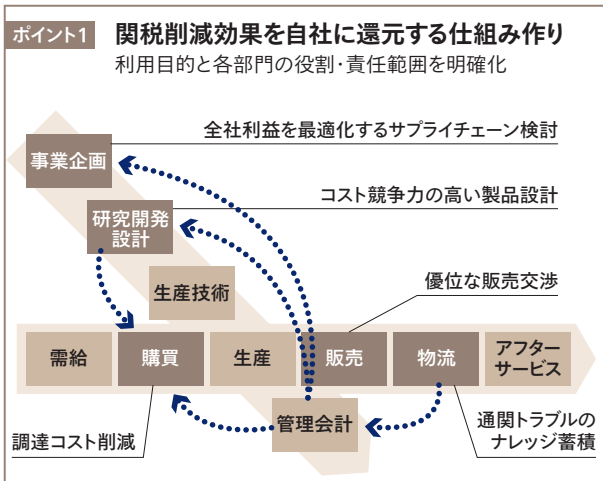
FTAの活用は、「関税削減効果を自社に還元する仕組み作り」および「原産地証明業務の負荷・コンプライアンスリスク低減」の2点がポイントです。

### 課題1 関税削減メリットが自社に還元されない

多くの企業では、顧客からの関税削減要請に応える形でFTAを使い始めるため、関税削減効果を自社に還元しづらい状況です。

### 課題2 業務負荷が高く、コンプライアンスリスクが内在

原産地規則は複雑であるため、業務負荷がかかるばかりか、コンプライアンス違反による追徴課税のリスクをはらんでいます。



## FTA・EPA活用支援サービスの特徴

アビームコンサルティングでは、独自の分析ツールによるスピーディーな関税削減効果の見極めと、サプライチェーンの専門家による結果につながるFTA活用提案、業務改革ノウハウを基にしたプロジェクトの推進により企業のFTA活用を促進します。

**分析ツールによる  
スピーディーな  
関税削減効果の見極め**

関税削減効果の可視化により、  
現状とのギャップを明確に持つ事が出来ます。  
これにより、関係者間で目指すべき状態を共有する事が出来ます。

**専門家による  
結果につながる  
FTA活用提案**

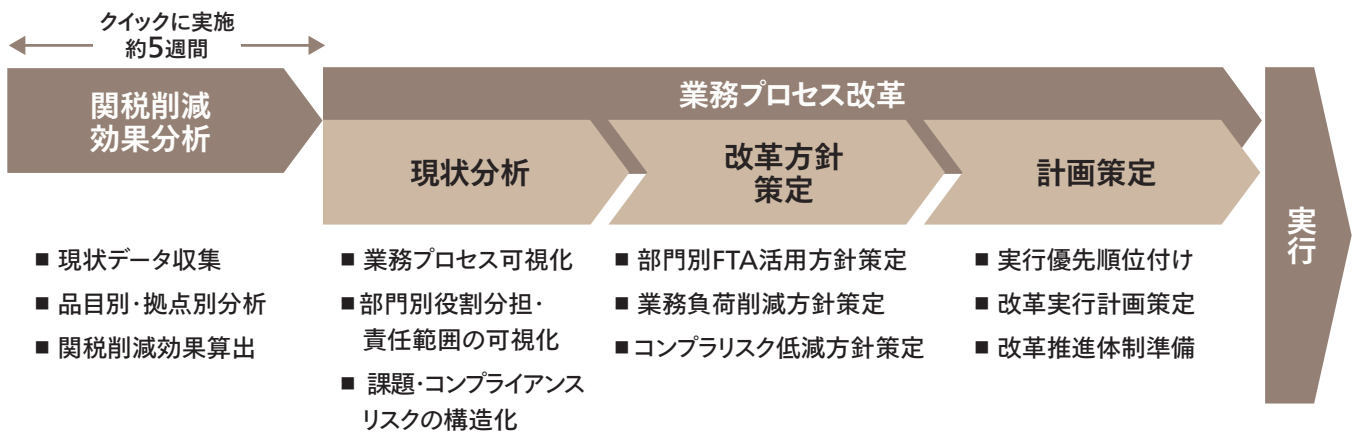
サプライチェーンを熟知したコンサルタントが、  
最適な調達・販売ルートや製品のコストシミュレーションを実施することで、  
関税削減による効果を最大限引き出します。

**業務改革ノウハウを  
基にした  
プロジェクトの推進**

豊富な業務改革プロジェクトの知見に基づき、  
コンプライアンスリスクを考慮した業務・プロセス設計や部門間調整により、  
部門横断の業務改革を成功に導きます。

## FTA・EPA活用支援サービスのアプローチ

関税削減効果分析を約5週間でクイックに実施し、活用効果を見極めたうえで、実効性ある業務プロセス改革につなげます。



## 成果物イメージ

関税削減効果見極め

課題・リスクの構造化

改革方針策定

部門別役割定義